

和泉市立総合医療センター リウマチ・膠原病内科で 成人発症スチル病に対する  
診断・治療を受けられた患者さん・ご家族の皆様へ

近畿大学病院 血液・膠原病内科では、「成人発症スチル病における血球貪食症候群の合併を診断するための HScore の有用性を検討するための後ろ向き症例対照研究」という臨床研究を行っています。当院はこの研究に共同研究機関として参加しています。そのため、当院で成人発症スチル病に対する治療を受けられた患者さんの診療情報を使用させていただきますので、以下の内容を確認してください。なお、この研究は、近畿大学医学部倫理委員会 (<https://www.med.kindai.ac.jp/rinri/index.html>) で審査・承認を受け、医学部長による実施の許可を受けて行われます。また、当院では和泉市立総合医療センター倫理審査委員会にて審査され、院長による実施の許可を受けています。

① 情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）

この研究では、「成人発症スチル病の重篤な合併症である血球貪食症候群を診断するために有用な指標として”HSscore”と呼ばれる基準が有効か」について調べることを主な目的としています。そのため、当院で成人発症スチル病に対する診断・治療を受けられた患者さんのうち、(1)発症時の年齢が 16 歳以上、(2)Yamaguchi らの分類基準(1992 年)を満たす、(3)疾患活動性を有する、(4)下記②に記載するすべての項目を取得できる、の 4 つの基準すべてに合致した方を対象として、診療情報のみを研究に利用します。利用する情報は、患者さん個人が特定されないようにした上で、個人情報に関しては、厳重に管理します。

② 利用し、又は提供する情報の項目

- ・ 生年月、診断時の年齢、性別
- ・ 診断日：年月、検体採取日、入院日
- ・ 理学所見：発熱、皮疹、関節痛・関節炎、筋痛、咽頭痛の有無
- ・ 血液検査所見：フェリチン、可溶性 IL-2 受容体(sIL-2R)、血沈、CRP、LDH、AST、ALT、白血球数、好中球数、リンパ球数、ヘモグロビン値、血小板数、中性脂肪、フィブリノーゲン
- ・ 画像検査：CT 検査(単純及び造影)、腹部超音波検査、PET-CT 検査で確認されるリンパ節腫大、肝脾腫の有無
- ・ 骨髄穿刺検査の実施の有無、ならびに骨髄穿刺検査における血球貪食像
- ・ 診断時までの治療歴の有無（ステロイドや免疫抑制剤等）

③ 当院から情報の提供を行う機関の名称及び責任者

近畿大学医学部 血液・膠原病内科・医学部講師 志賀 俊彦 (多機関共同研究 研究代表者)

④ 提供する情報の取得の方法

当該情報の取得の方法は、当院ならびに共同研究機関（近畿大学病院・近畿大学奈良病院）におけ

る診療録から遡って確認するのみです。

- ⑤ 提供する情報を用いる研究に係る研究責任者の氏名及び当該者が所属する研究機関の名称  
和泉市立総合医療センター リウマチ・膠原病内科 樋野 尚一
- ⑥ 利用する者の範囲  
本研究に参加する当院の医師及び近畿大学病院 血液・膠原病内科の医師
- ⑦ 情報の管理について責任を有するものの氏名又は名称  
近畿大学医学部 血液・膠原病内科・医学部講師 志賀 俊彦(すべての共同研究機関の情報の管理)  
和泉市立総合医療センター リウマチ・膠原病内科 樋野 尚一 (当院における情報の管理)
- ⑧ 研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される情報の利用又は他の研究機関への提供を停止する旨  
この研究では、患者さん・ご家族の診療情報が利用されることに同意できず、拒否されたい場合に、下記の方法により、いつでもその利用を停止することが可能です。また、利用の停止を受け付けた場合でも、その後の診療において一切の不利益を受けることはありません。
- ⑨ ⑧の研究対象者等の求めを受け付ける方法  
下記までご連絡ください。なお、この研究に関するすべてのお問い合わせも下記で受け付けます。

**[お問い合わせ先]**

和泉市立総合医療センター リウマチ・膠原病内科 樋野 尚一  
電話：0725-41-1331

以上